

## 教育実践報告

**松本大学における2020年春の全学オンライン授業導入の経緯**

浜崎 央

Recalling the Process of Introducing Campus-Wide Online Courses During  
the Spring and Summer Semester of 2020 at Matsumoto University

HAMASAKI Hiroshi

**要 旨**

2020年度前期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、松本大学においても授業開始時期は延期され、4月の「対策本部会議」において授業は原則、遠隔授業での実施と決定した。遠隔授業のためのアプリケーションとして、本学においてはそれまでほとんど利用実績のないMicrosoft Teamsを用いることとなり、急遽、4月中旬から非常勤講師を含む教員全員への講習会を集中的に開催し、教員・職員が協力しあって準備を進めてきた。結果的に、5月7日に延期開講とはなったものの、専任・非常勤約200名の教員によって約2,200名の学生を対象に約800のほとんどすべての前期授業がオンライン授業で予定通り開講できることとなった。

**キーワード**

遠隔授業    オンライン授業    新型コロナウイルス感染症対策    Teams    Office365

**目 次**

- I. はじめに
- II. 遠隔授業を決定するまでの経緯
- III. Teamsの利用
- IV. 遠隔授業のための準備
- V. まとめ

文献

## I. はじめに

2019年度末より世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は世界を一変させた。本学での教育活動も、もちろん例外ではなく、2020年度の新学期開講は延期され5月のゴールデンウィーク明けからとなり、授業は原則、遠隔授業という形での実施となった。今回、その実施に至るまでの間、筆者は「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」(以下、「対策本部会議」という)のメンバーとして、遠隔授業を推進する中心的な役割を担う一人となっていたため、2019年度末から遠隔授業を導入するのに至るまでの様々な対応を、記録として残すことを目的に整理し、まとめることとした。

## II. 遠隔授業を決定するまでの経緯

この章では、時系列に遠隔授業に関連する社会的な事象や、政府の対応、および本学の対応を整理し、まとめることとする。

### 1. 2019年度末の対応について

日本において最初に新型コロナウイルスに関連した肺炎の患者が報告されたのは2020年1月16日<sup>1)</sup>であり、その後、2月末までの間に200人を超える患者が報告されている<sup>2)</sup>。また、長野県において新型コロナウイルス感染症患者が初めて報告されたのは2020年2月25日<sup>3)</sup>であり、同日、本学において最初の「対策本部会議」が開催された。本学において新型コロナウイルス感染症に対する対応は、原則、この「対策本部会議」において審議・決定されていた。この「対策本部会議」は、学長を本部長、健康安全センター長と事務局長を副部長とし、2019年度末までは副学長、全学入試委員会・全学学生委員会・全学就職委員会・全学教務委員会の各委員長および事務局長、健康安全センター保健師がメンバーとなっていた。2020年4月以降は以上のメンバーに加え、研究科および各学部の学部長がメンバーとして加えられている。筆者は2019年度末までは全学教務委員長の立場で、また2020年度4月以降は短期大学部長の立場で、この「対策本部会議」に参加している。2月25日に最

初に開催された「対策本部会議」において、「対面で人と人との距離が近い接触が、会話などで一定時間以上続き、多くの人々との間で交わされる環境をできるかぎり避けることとする。」<sup>4)</sup>と基本方針が決定されていたため、この方針に従い様々な学内での年度末のイベントが中止または延期とされていた。

2月27日には政府により、全国すべての小中高校と特別支援学校について3月2日から春休みに入るまで臨時休校するよう要請がなされた<sup>5)</sup>。また、3月末には首都圏を中心に新規感染者数が急増したことにより、東京都知事により不要不急の外出自粛や在宅勤務などの要請がなされた<sup>6)</sup>ことなどから、自宅で仕事を行うテレワークや自宅で授業を受講するオンライン授業が社会的にも関心事として取り上げられるようになる<sup>7)</sup>。

大学関係では、文部科学省の「令和2年度における大学等の授業の開始等について(令和2年3月24日通知)」<sup>8)</sup>において「学事日程の取り扱いを弾力的に取り扱って構わない」との記述があったこともあり、多くの大学が新学期の授業開始延期を検討・決定していくことになる<sup>9)</sup>。また、同通知において、「遠隔授業の活用」が言及されており、「テレビ会議システム等を利用した同時双方向型の遠隔授業や、オンライン教材を用いたオンデマンド型の遠隔授業を自宅等にいる学生に対して行うことは可能であり(後略)」とされていたこともあり、多くの大学が遠隔授業での実施を決定していくこととなる<sup>10)</sup>。そのような中、本学では3月24日の「対策本部会議」までは「前期授業については、4月13日より予定通り開講する」<sup>9)</sup>と、予定通りの日程において感染症対策を行いながら対面で授業を実施することとしていた。

### 2. 2020年度4月からの対応

長野県内の感染者数は3月31日時点で7例であった<sup>10)</sup>が、東京都知事により首都圏を中心とした新規感染者数の急増による不要不急の外出自粛要請が出されていた<sup>11)</sup>ことなどを鑑み、4月1日の本学での「対策本部会議」において、授業において感染症防止対策をとるための十分な準備期間がないことなどを理由に、前期の授業を5月7日まで延期することが決定された<sup>12)</sup>。そのような中、4月7日に政府から7都府県(東京、神奈川、千葉、埼玉、大阪、兵庫、福岡)

を対象とした緊急事態宣言が出された<sup>13)</sup>こともあり、全学教務委員会において、感染防止対策を取りながら対面での授業を実施する方法として、学部ごとに週2日間のみの通学で、3密を避ける目的で教室の収容人数の3割の学生数で授業を実施する案が「対策本部会議」に提案<sup>14)</sup>され、5月7日の授業開始に合わせて時間割の再編成などの準備が進められていた<sup>15)</sup>。その後、4月16日に緊急事態宣言が全国に拡大された<sup>16)</sup>ことを受け、臨時の「対策本部会議」が4月17日に開催され、5月7日に開講が予定されている授業は原則すべて遠隔授業で実施する方針であることが学生・教職員にメール等<sup>17)</sup>で示され、翌週の4月20日の「対策本部会議」において遠隔授業を実施するにあたっての諸問題が議論された上で、5月7日からの授業は遠隔授業として実施する方針が決定された<sup>18)</sup>。

### 3. 遠隔授業の検討について

本学の「対策本部会議」において遠隔授業について最初に言及されたのは、2020年4月6日の会議においてであり、議事録によると「遠隔授業導入の可能性も含め、ZOOMのアカウントを大学としてとることが提案され、前向きに検討していくこととなった。」<sup>19)</sup>となっている。それを受け、筆者は全学教務委員会担当および情報センター運営委員会担当の立場において、全学教務委員長、情報センター運営委員長、教務課長、情報センター課長に個々に対面やメール等で相談・検討を行い、その結果を資料「松本大学における遠隔授業の取り扱いについて(案)」<sup>20)</sup>にまとめ4月15日の「対策本部会議」において説明を行った<sup>15)</sup>。資料の内容は、1. 松本大学で遠隔授業の実施方法の提案や現時点での問題点、2. 文部科学省による遠隔授業の定義、3. 単位認定のルール、4. 松本大学で利用できるツール(ハードウェアおよびソフトウェア)、5. 遠隔授業における著作権の取り扱い、6. 松本大学での具体的な遠隔授業の実施手順であった。議事録によると「遠隔授業の実施に備えて、可能な限り早期に使用方法等について教員向けの講習会を行う。」<sup>15)</sup>となっており、この時点では、実施に向けて具体的に動くというものではなかった。

## Ⅲ. Teamsの利用

この章では、松本大学の遠隔授業を実施するツールとしてMicrosoft 社製のWeb会議システムであるTeamsを利用することになった経緯を整理し、まとめることとする。

### 1. Office365の導入について

本学では、もともとOffice365を全教職員および学生が利用できるようになっていた。2013年度の情報センター運営委員会において、学生が就職活動でどこからでもアクセスできるメールが必要ではないかといった理由などにより、Webメールの導入が検討されている<sup>21)</sup>。そのときの委員会の資料によると、日本の大学におけるWebメールのトレンドとして、Outlookメール、Googleメール、Yahooメールの3つが挙げられていた<sup>22)</sup>。結果的には、本学においてWindowsをはじめとしたMicrosoft製品を主に利用していたことから、それらのソフトウェアやハードウェアとの親和性を考慮し、Office365の機能の1つであるOutlookメールが選択され導入された。その結果、2014年度当初から教職員・学生ともOffice365のメールを含めOffice365のアプリケーションが利用できるようになっていた。Teamsは、そのOffice365のアプリケーションの1つだが、情報センター運営委員会において2019年4月に委員会のチームが作成され、資料の配布やビデオ会議システムが同委員会において試験的に実施されていたことはあったが、2020年の4月の段階で過去に作成されていたチームを確認する限り、今回の遠隔授業が実施されるまでほとんど使われていなかったと考えられる。

### 2. Teamsの利用について

2020年4月当初、遠隔授業を実現するソフトウェアとして、すぐに利用できるかと筆者が考えたものは、オンライン授業用に特化したシステムではなく、企業等で利用されているWeb会議システムであった。その当時、国内では仕事で利用するWeb会議システムとしてはZoomのシェアが最も高く、続いてSkype、Microsoft Teamsが挙げられていた<sup>23)</sup>。

しかし、Zoomは利用するためのURLまたはIDやパスワードを授業ごとに学生に連絡する必要があること、また、当時、Zoomのセキュリティが問題となっていた<sup>24)</sup>こと、さらに本学では、短期大学部を除いて本格的なLMSシステムは導入されておらず、Zoomと当時全学的に使用されていたメソフィア(大学事務総合管理システム)を利用して、すべての授業に対応することは困難であると筆者が判断したため、4月13日の「対策本部会議」において提出した「松本大学における遠隔授業の取り扱いについて(案)」<sup>20)</sup>においても、利用できるツールとして、「不特定多数の参加が必要な場合、1度だけの場合はZOOM」、「参加するメンバーがいつも決まっている、学内での機密性を高める場合はTeams」と、遠隔授業の実施においてはTeamsを提案した。また、筆者は、同資料を4月16日に開催された情報センター運営委員会においても提出し、審議の結果、「導入することになれば、当委員会として支援することを確認した」との結論となっている<sup>25)</sup>。

本来であれば、本学の遠隔授業を実施するための根幹の部分であるため、情報センター運営委員会などの適切な委員会において、Zoomをはじめその他のシステムの利用を検討する必要があったと考えられる。しかし、4月16日の情報センター運営委員会<sup>25)</sup>での議論や、4月20日の「対策本部会議」で遠隔授業の実施が決定した<sup>20)</sup>ときにも、利用するシステムについての十分な議論はなく、筆者の提案がそのまま受け入れられた形となり、議論を深めることなくTeamsを利用して遠隔授業を実施することとなった。

## IV. 遠隔授業のための準備

2020年4月20日の「対策本部会議」において、「5月7日から開講する原則すべての授業を遠隔で実施する」<sup>18)</sup>ことになったことを受け、約3週間弱の準備期間を経た後、専任・非常勤を含む約200名の教員と約2,200名の全学生によって、約800の前期科目のすべてを遠隔授業で実施することとなる。そこで、この章においては、遠隔授業の実施が決定してから、実際に実施されるまでに行った対応について整理し、まとめることとする。

## 1. 教員への対応について

遠隔授業の準備は、主に筆者が情報センター職員と協議しながら実施してきた。最初に実施したことはTeamsを経験してもらうために「Teams授業練習用クラス」を作成したことである。4月17日の夕方にはTeamsの中に「Teams授業練習用クラス」というチームを作成し、約100名の全専任教員をそのチームに学生の立場として追加、Teamsの機能である「投稿」だけでなく、「ファイル」や「課題」、Streamの機能を使った動画配信なども経験できるように準備をした。その日のうちに10人の教員の方の投稿があり、その後は、同チームにおいて「投稿」機能を利用した質疑応答が行われることとなる<sup>注3)</sup>。また、個別の教員により双方向のビデオ会議を経験したいとの意見があったため、週明けの4月20日には時間を決めて4回のビデオ会議を、筆者が開催し、メンバーの教員の方に自由に参加してもらう形で実施した<sup>注3)</sup>。その後、専任教員に関しては、4月21日および22日に学部・学科別に対面での講習会を計3回開催し、松本大学における遠隔授業の実施方法やビデオ会議の方法などの説明を行った。さらに、Teams内に各学科(または学部)でチームを作成し、所属する教員を所有者メンバー(教員の立場でのメンバー)として登録することで、学科単位でお互いに練習を重ねたり、教えあったりできる環境を提供した。また、非常勤教員においても同様に4月27日にTeamsの中に「松本大学非常勤講師」チームを作成し、4月30日および5月1日に講習会を対面で行った。

## 2. 学生への対応について

学生に対しては、4月20日実施された「対策本部会議」において、「5月7日までは接続確認期間とし、学生に対して、ゼミを中心に可能な限りコミュニケーションをとること」<sup>18)</sup>と決定されていた。そのため、4月22日に全学生に向けて、パソコンや通信環境の準備に加えTeamsのインストールを各自で行ってもらう依頼文書を発信し<sup>26)</sup>、4月30日にはそれに追加して筆者が情報センター職員と協力して「学生版マニュアル」を作成し発信した<sup>26)</sup>。さらに、教務課と情報センターの職員の協力のもと、まずはゼミやクラスのチームを作ることを最優先で行い、準備が



できた教員から各自のゼミおよびクラス所属学生に連絡をとり、Teamsでの遠隔授業の練習を行うことができる環境を用意した。その結果は5月1日の「対策本部会議」において、学部によっては「ほぼ全員に通信テストを修了している。」と報告されている<sup>27)</sup>。

学生のIT環境は、前年度の「学修行動調査」<sup>28)、29)</sup>により、パソコンの所有率は大学85.5%、短大96.9%だったが、スマートフォンの所有率は大学99.4%、短大99.7%と、ほぼ100%だとわかっていたため、主要3キャリアの50GBまでの追加容量無料という支援策<sup>30-32)</sup>もあり、最低でもスマートフォンによりアクセスは可能であると筆者は考えていた。その後、5月15日の「対策本部会議」において、実際にIT環境が整わない学生に対して学内での受講を認めることとした<sup>33)</sup>が、その人数は全学で10数名にとどまり、5月18日から22日の間に実施したアンケート結果<sup>注4</sup>による予想よりもかなり少ない人数であった。

## V. まとめ

以上が本学において2020年度前期に遠隔授業を実施するにあたり、筆者が「対策本部会議」のメンバーとして、情報センターの職員を中心に多くの教職員の協力のもと2019年度末から2020年5月7日までに実施した内容を、記録に残す目的で整理し、まとめたものである。いくつかの決定において緊急事態であったとはいえ、筆者が独自に進めてしまったことも多くあり、組織的な対応が取れなかったことは強く反省したい。実際に2020年度前期に実施された遠隔授業は、教員・職員の考えられないほどの努力の結果と学生の皆さんの積極的な勉学意欲の結果、ある程度以上の成果を残せたと感じている。こうした緊急の対応ではあったが、本号ではオンライン授業の種々の実践報告が特集されるまでになったとのことである。改めて教員・職員および学生の皆さんに敬意を表したい。今後、何かの参考になれば幸いである。

### 注

- 注1 文部科学省の「新型コロナウイルス感染症対策に関する大学等の対応状況について」(令和2年4月24日)によると、全体で約9割の大学等において、学生を集めて行う通常の授業の開始時期等を延期している。また、教室外の学生に対して行う授業(遠隔授業)の活用については、ほぼ全て(98.7%)の大学等で実施又は検討する方針となっている。
- 注2 全教職員に向けて、学長・新型コロナウイルス感染症対策本部長より「新型コロナウイルス感染症対策本部からのお知らせ」というタイトルで「5月7日開講を予定している前期授業は、オンライン授業で実施します。」というメールが2020年4月17日14:48に配信された。
- 注3 松本大学 Teams 内の「Teams 授業練習用クラス」チームの「投稿」において確認できる。
- 注4 松本大学、「新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録(2020年5月22日開催)」。(2020/5/18~5/22の間にIT環境の整わない学生の調査をするためにWebによりアンケートを実施。2,191人の学生中1,390人が回答(63.4%の回答率)。遠隔授業が開始されてから、スマートフォンを使って、容量制限がある携帯電話もしくはモバイルWi-Fiのネットワークで受講していた学生は1,390人中15人(1.1%)だったため、全体(2,191人)で24人程度はIT環境が整わない学生がいると予想した。また、学内で受講を強く希望する学生は1,390人中64人(4.6%)だったため、全体(2,191人)に換算すると最大で100人程度は学内での受講を希望するのではないかと考えた。)

### 文献

- 1) 厚生労働省, 新型コロナウイルスに関連した肺炎の患者の発生について(1例目), (2020.1.16) [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_08906.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08906.html)(閲覧日2020.10.4).
- 2) 厚生労働省, 新型コロナウイルスに関連した患者の発生について(209~217例目), (2020.2.9) [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_09859.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09859.html)(閲覧日2020.10.4).
- 3) 長野県, 新型コロナウイルス感染症患者の発生について, (2020.2.25) <https://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/happyou/20200225corona.html>(閲覧日2020.10.4).
- 4) 松本大学, 「新型コロナウイルス感染症対策本部 議事録(2020年2月25日開催)」.
- 5) 首相官邸, 令和2年2月27日 新型コロナウイルス感染症対策本部(第15回), (2020). [https://www.kantei.go.jp/jp/98\\_abe/actions/202002/27corona.html](https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/202002/27corona.html)(閲覧日2020.10.3).
- 6) 東京都, 小池知事「知事の部屋」/記者会見(令和2年3月25日), (2020). <https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/>

- governor/governor/kishakaiken/2020/03/25.html(閲覧日2020.10.3).
- 7) 朝日新聞社, 新型コロナが社会を変える～オンライン授業、テレワーク。主導権は若い世代へ(2020.4.1).  
<https://webronza.asahi.com/business/articles/2020033000013.html>(閲覧日2020.10.4).
- 8) 文部科学省, 「令和2年度における大学等の授業の開始等について(通知)」(2020.3.24).
- 9) 松本大学, 「新型コロナウイルス感染症対策本部 議事録(2020年3月24日開催)」.
- 10) 長野県, 長野県内における新型コロナウイルス感染症の動向(2020).  
<https://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/joho/corona-doko.html>(閲覧日2020.10.3).
- 11) 東京都, 小池知事「知事の部屋」／記者会見(令和2年3月30日)(2020).  
<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/governor/governor/kishakaiken/2020/03/30.html>(閲覧日2020.10.3).
- 12) 松本大学, 「新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録(2020年4月1日開催)」.
- 13) 首相官邸, 令和2年4月7日 新型コロナウイルス感染症対策本部(第27回)(2020).  
[https://www.kantei.go.jp/jp/98\\_abe/actions/202004/07corona.html](https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/202004/07corona.html) (閲覧日2020.10.3).
- 14) 松本大学, 「新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録(2020年4月13日開催)」.
- 15) 松本大学, 「新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録(2020年4月15日開催)」.
- 16) 首相官邸, 令和2年4月16日 新型コロナウイルス感染症対策本部(第29回)(2020).  
[https://www.kantei.go.jp/jp/98\\_abe/actions/202004/16corona.html](https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/202004/16corona.html)(閲覧日2020.10.3).
- 17) 松本大学, 【在学生向け】全都道府県緊急事態宣言に伴う対応について(2020).  
<https://www.matsumoto-u.ac.jp/news2020/04/29003.php>(閲覧日2020.10.3).
- 18) 松本大学, 「新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録(2020年4月20日開催)」.
- 19) 松本大学, 「新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録(2020年4月6日開催)」.
- 20) 浜崎央, 「松本大学における遠隔授業の取り扱いについて(案)」(新型コロナウイルス感染症対策本部会議 資料), pp.1-14(2020.4.14).
- 21) 松本大学情報センター運営委員会, 「第8回情報センター運営委員会議事録(2014年1月15日開催)」.
- 22) 浜崎央, 「メールシステムの再構築について(2)」, (第8回情報センター運営委員会 資料), pp.1-2(2014.1.15).
- 23) 株式会社ジェイ・ディー・パワー ジャパン, 「テレワーク下におけるWEB会議利用に関する日米調査」(2020.4.27).  
<https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000049.000042677.html>(閲覧日2020.10.3).
- 24) 独立行政法人情報処理推進機構, Zoomの脆弱性対策について(2020.4.3).  
<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/alert20200403.html>(閲覧日2020.10.3).
- 25) 松本大学情報センター運営委員会, 「2020年度情報センター運営委員会(第1回)議事録(2020年4月16日開催)」.
- 26) 松本大学情報センター, 遠隔授業(オンライン授業)の準備について(2020).  
<https://www.matsumoto-u.ac.jp/news2020/04/29011.php>(閲覧日2020.10.3).
- 27) 松本大学, 「新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録(2020年5月1日開催)」.
- 28) 松本大学IR推進室, 「2019年度 学修行動調査 調査結果」, pp.4(2019).
- 29) 松本大学松商短期大学部IR推進室, 「2019年度学修行動調査 調査結果」, pp.4(2019).
- 30) NTTドコモ, 「新型コロナウイルス感染症の流行に伴うU25向け支援措置」の実施(8月31日まで延長)(2020).  
[https://www.nttdocomo.co.jp/info/notice/page/200403\\_00.html](https://www.nttdocomo.co.jp/info/notice/page/200403_00.html)(閲覧日2020.10.5).
- 31) SoftBank, 25歳以下の“ソフトバンク”と“ワイモバイル”の利用者へ50GBの追加データを無償提供(8月31日まで延長)(2020).  
[https://www.softbank.jp/corp/news/info/2020/20200403\\_01/](https://www.softbank.jp/corp/news/info/2020/20200403_01/)(閲覧日2020.10.5).
- 32) KDDI, 新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う支援について(対象期間を8月31日まで延長)(2020).  
<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2020/04/03/4364.html>(閲覧日2020.10.5).
- 33) 松本大学, 「新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録(2020年5月15日開催)」.